

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市たんぼぼホーム（立町・大野田・田子西・上飯田・西花苑）																								
2	指定管理者	社会福祉法人 仙台はげみの会																								
3	指定期間	平成30年4月1日から令和4年3月31日（4年間）																								
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・立町</td> <td>2,844人（前年度比 121%）</td> <td>2,357人（前年度比 94%）</td> <td>2,497人（前年度比105%）</td> </tr> <tr> <td>・大野田</td> <td>3,478人（前年度比 87%）</td> <td>3,976人（前年度比 111%）</td> <td>3,570人（前年度比 91%）</td> </tr> <tr> <td>・田子西</td> <td>3,531人（前年度比 91%）</td> <td>3,889人（前年度比 132%）</td> <td>2,947人（前年度比106%）</td> </tr> <tr> <td>・上飯田</td> <td>3,103人（前年度比 115%）</td> <td>2,701人（前年度比 103%）</td> <td>2,617人（前年度比 95%）</td> </tr> <tr> <td>・西花苑</td> <td>2,573人（前年度比 104%）</td> <td>2,474人（前年度比 110%）</td> <td>2,258人（前年度比 89%）</td> </tr> </tbody> </table> <p>《事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援事業 		令和元年	平成30年度	平成29年度	・立町	2,844人（前年度比 121%）	2,357人（前年度比 94%）	2,497人（前年度比105%）	・大野田	3,478人（前年度比 87%）	3,976人（前年度比 111%）	3,570人（前年度比 91%）	・田子西	3,531人（前年度比 91%）	3,889人（前年度比 132%）	2,947人（前年度比106%）	・上飯田	3,103人（前年度比 115%）	2,701人（前年度比 103%）	2,617人（前年度比 95%）	・西花苑	2,573人（前年度比 104%）	2,474人（前年度比 110%）	2,258人（前年度比 89%）
	令和元年	平成30年度	平成29年度																							
・立町	2,844人（前年度比 121%）	2,357人（前年度比 94%）	2,497人（前年度比105%）																							
・大野田	3,478人（前年度比 87%）	3,976人（前年度比 111%）	3,570人（前年度比 91%）																							
・田子西	3,531人（前年度比 91%）	3,889人（前年度比 132%）	2,947人（前年度比106%）																							
・上飯田	3,103人（前年度比 115%）	2,701人（前年度比 103%）	2,617人（前年度比 95%）																							
・西花苑	2,573人（前年度比 104%）	2,474人（前年度比 110%）	2,258人（前年度比 89%）																							
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者に支払った費用 229,238千円（221,938千円） ・その他市が負担した費用 8,504千円（13,596千円） <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用料収入 185,702千円（172,525千円） ・その他収入 3,685千円（0千円） <p>（ ）は前年度決算額</p>																								
6	利用者の声	<p>《実施状況》</p> <p>令和2年2月、指定管理者の協力のもと障害者支援課で施設の利用に関し、利用者アンケートを実施した。</p>																								

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	<p>施設の設置目的に沿った事業計画が作成されており、職員も設置目的を適切に理解し、施設運営に当たっている。</p> <p>保護者勉強会を定期的に開催し、親子ともに成長できるような支援を実施している。また、地域相談員による卒園児の進路先への訪問や、近隣の子育て機関との連携等、地域支援にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>利用者個々の特性に合わせた療育支援を工夫して行っている。</p>	42/42
II 施設の運営管理体制	<p>施設の運営管理については、事業計画に基づいた運営がなされている。</p> <p>情報管理の徹底に努めており、事故防止や災害発生時の対応や体制を確立している。</p>	24/24
III 施設・設備の維持管理	<p>施設・設備は適正に管理されており、利用者が快適かつ安全に利用できる環境整備に努めている。</p> <p>環境への配慮としては、施設全体で積極的な取り組みを進めている。</p>	24/24
IV サービスの質の向上	<p>定期的に研修や職員会議を実施し、人材育成を図るとともに情報共有に努め、職員全体でのサービス向上に努めている。</p> <p>保護者等に対してパンフレットを用いて説明するなど、わかりやすく細やかな情報提供を心掛けている。</p>	27/27
V 施設固有の基準	<p>個別支援計画を詳細に作成し、課題と取組み・振り返り評価を行い、利用者個々の発達に寄り添った支援の提供を心掛けている。</p> <p>指定児童発達支援事業所として、基準を遵守しながら利用者処遇の向上に努めている。</p>	4/4

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台はげみの会）による自己評価》	
<p><発達支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との面談や療育場を共有する中で、子どもの特性や支援方法を確認しながら支援計画を作成し、定期的に見直しを行い適切な支援に努めた。 ・室内の物理的構造化や視覚支援の充実を図り、個々の特性に応じた分かり易く安心できる環境を整え、人との関わりや身辺自立に取り組んだ。 ・集団活動の他に発達課題に添った個別活動も定期的実施し、子どもの意欲を引き出すあそびや環境の工夫に努め、保護者と苦手や強みを共有した。 ・クッキング活動を定期的に取り入れたことで“食”への興味が広がり偏食が減り、食べられるものが増えたことで親子の自信にも繋がった。 ・看護師を配置していることで、医療ケア対象ケースの保護者の負担軽減や、親子の分離活動も可能になる等安心できる環境を保障した。 <p><家族支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者勉強会を定期的実施し、子どもへのより良い対応や進路決定の仕方を考える機会とした。 ・保護者の通院やきょうだい児の行事の際などに「一時預かり」を実施し、年間を通してニーズも高く好評を得ている。 ・きょうだい児支援行事を年に3回実施し、毎回参加者も多く、期待度も高い。 <p><地域支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒園児の事後教室開催や「移行支援シート」を用いて進路先と引継ぎや訪問等の移行支援を実施し、卒園後も地域の中で安心して過ごせるように支援した。 ・地域相談員が中心となって「のびすく」や「子育て支援室」等の施設へ訪問し、地域からの相談にも対応した。 ・幼稚園、保育園の支援者とのケース検討会を開催し、講師による講演と施設見学(療育ツール展示)を行い、気になる子への対応や特性理解を深める機会となった。 	

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和元年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>児童の年齢や特性に応じたきめ細かい療育を行う工夫がなされ、療育内容の充実が図られている。加えて、保護者勉強会や、きょうだい児支援行事の定期的な実施等、家族支援も充実している。</p> <p>近隣の子育て支援施設や卒園児の進路先への訪問、地域からの相談にも対応し、地域との連携・交流を積極的に図っており、利用児童だけでなく家族や卒園児も含めた包括的で切れ目のない利用者処遇の向上に努めている。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課